

GBRC 業務説明会 開催報告 「2025年度 GBRC 建築技術セミナー：GBRC EXPO 2025」

確認評定部では2025年8月、10月に「GBRC 建築技術セミナー」を開催しました。2025年度は『GBRC EXPO 2025』をメインテーマとして掲げ、大阪会場は『見て、聞いて、さわって、建築技術』、東京会場は『建築のイマとミライ』をサブテーマとし、2会場で建築技術セミナーを開催いたしました。両会場で実施した特別講演では、国土交通省様より脱炭素社会の実現に向けた住宅・建築物分野の政策動向について、株式会社大林組様より低炭素建築へ向けた構造部材リユースの取組みと高層純木造への挑戦について、ご講演いただきました。また、確認評定部、構造部耐震耐久性調査室の各職員より、業務説明と併せて各分野の技術的な最新情報について紹介させていただきました。

大阪会場では今年度新たな取り組みとして、講演会場と併せて体験型ブース会場を設けました。GBRC以外の企業や団体にもご出展いただき、次ページに示すような建築分野の最新技術に実際に触れて体験できるブースを合計9個設けました。どのブースも大変盛況で20、30代の若い世代の方々やお子様連れの方にも楽しんでいただき、ご参加頂いた方からは大変ご好評をいただきました。

両会場とも設計事務所をはじめ、建設会社、研究機関、不動産、生コンクリート製造会社、メーカー、行政といった多業種の方々、また幅広い世代の方々に多数ご来場いただき、誠にありがとうございました。次回セミナーを鋭意計画中ですので、内容や具体的な開催内容が決まり次第お知らせいたします。次回セミナーも奮ってのご参加をお待ちしております。



体験型ブース会場の様子
(地震時の室内シミュレーションTAFT®)



講演会場の様子 (大阪)



体験型ブース会場の様子 (大阪)



講演会場の様子 (東京)

業務説明会の概要 (開催場所・開催日・参加人数)

開催場所	開催日	参加人数
大阪会場：マイドームおおさか	2025年8月22日(金)	244名
東京会場：一橋大学一橋講堂	2025年10月17日(金)	137名

業務説明会のプログラム

【大阪会場：体験型ブース】

内 容	
VR 火災避難体験	国立研究開発法人 建築研究所
地震時の室内シミュレーション TAFT®	株式会社 竹中工務店
耐震天井下地< OS シーリング>	株式会社 オクジュ
3D プリンター、3D スキャナー実機体験会	日本 3D プリンター 株式会社
耳で触れる建築 ～GBRC ASMR～	GBRC 試験研究センター
DX による現地調査の効率化と精度向上への取り組み	GBRC 構造部 耐震耐久性調査室
3D プリンターで作る風洞実験模型ってこんなもの！	GBRC 環境部 耐風試験室
EXPO 1970-2025 大阪・関西万博展示	GBRC 確認評定部
挑戦！5 ジャンル業務クイズ	GBRC 確認評定部

【大阪会場：講演プログラム】

敬称略

時 間	内 容	
13:00 - 13:10	ご挨拶	評価判定センター長 多賀 謙蔵
13:10 - 13:30	超高層建築物の地震荷重と風荷重の比較に関する一考察	確認評定部 性能評定課 構造 G 勝間 溪太
13:30 - 13:50	建物の長期供用と不具合是正への技術支援	構造部 耐震耐久性調査室 本庄 敬祐／根津 達也
13:50 - 14:10	環境配慮型コンクリートを建築物に適用する際のポイント	確認評定部 性能評定課 材料 G 津平 公彦
14:20 - 15:10	脱炭素社会の実現に向けた住宅・建築物分野の政策動向について	国土交通省住宅局参事官（建築企画担当）付 課長補佐 平山 鉄也
15:20 - 15:40	避難安全検証：高さ判定法（ルート B2）の概要と要点解説	確認評定部 性能評定課 防災 G 中野 美奈
15:40 - 16:00	省エネ適合性判定手続きの今後のポイント	確認評定部 確認検査課 城ヶ原 達也
	バリアフリー法改正の要点と実務への影響	確認評定部 確認検査課 藤井 孝宏
16:10 - 17:00	『低炭素建築へ向けて～構造部材リユースと高層純木造への挑戦～』	
	1 部：アップフロントカーボン（資材製造・施工時に排出する CO2）削減に向けた建築資材リユースの取り組み ～構造部材リユースへの挑戦～	株式会社大林組 本社 設計本部 カーボンニュートラル設計推進部 部長 鈴木 勇二
	2 部：次世代型研修施設「Port Plus®」での取り組み ～高層純木造耐火建築物への挑戦～	株式会社大林組 本社 設計本部 構造設計第三部構造設計第五課 課長 百野 泰樹

※東京会場も講演項目は同じですが、冒頭に法人紹介を行いました。